

[た よ り]

大阪透析医会（大阪府支部）だより

飯田喜俊

大阪透析医会では2年前の本誌第14巻4号、1999年で近況を報告しましたが、今回再び執筆依頼がありましたので、その後の活動状況を中心に記します。

1 沿革と現況

大阪では昭和49年3月に大阪透析研究会が発足し、透析医療の普及とレベルアップを目指して活動してきましたが、その後、透析医療のうち医療費、行政、患者会、医師会関係などを担当する組織が必要となり、昭和55年に私立病院協会（私病協）透析部会が結成されました。部長・藪本秀雄（敬称略、以下同様）、事務局長・山川眞、顧問・前川正信で、役員には大阪透析研究会の役員が併任となってスタートしました。

その後、実際の仕事には私立病院だけでなく診療所の内容もあり、また大学病院や公的病院の人も入る必要があるため、昭和63年3月27日に私病協から出て、大阪透析医会が設立されました。会長は前川正信、事務局は仁真会白鷺病院で、これまでの透析部会の活動が引き継がれて進められました。設立時の会員数は、施設会員98名、個人会員107名、賛助会員1名でした。

その後、組織・内容も次第に充実し、副会長には飯田喜俊、井上隆がなり、活動も活発となってきました。また、全国的には（社）日本透析医会の大阪府支部として活躍しています。平成8年10月29日に大阪府医師会医学部への加盟が認められ、大阪府医師会に対してもさらに積極的に協力し活躍して現在に至っています。現在、名誉会長（1名）、会長（1名）、副会長（2名）、常任幹事（10名）、幹事（24名）が中心と

なり（表1）、13の委員会（表2）によって業務が行われています。現在、施設会員159名、個人会員163名、賛助会員1名で、会員数の推移は表3のように次第に増加しております。

2 活動状況と業績

主な活動としては、定期的な総会・研修会や講演会の開催、大阪府医師会医学部に積極的に参加して研究発表、患者会（大阪腎臓病患者協議会）との懇談会を持つなどの交流、大阪透析研究会と力を合わせて各種の事業を行うなど、初期の目的のために活動してきました。とくに平成7年1月17日の阪神淡路大震災、同8年7月10日の堺市を中心とするO-157感染事件では、大阪透析研究会と共同で患者の救出、緊急透析などを行って、これにより社会に貢献し広く認められるようになりました。

ちなみに、平成11年から現在までに行った主な事業は表4、5、6に示す通りで、毎年4月に総会（出席約200名）を開催し、同時にそのときに最も必要とするテーマで講演会を持ち、7月と11月には定期講演会（それぞれ出席者約100～150名）を開催し、それぞれの時期における重要なテーマについて研修してきました。昨年は日本医師会との交流を積極的に行い、そのトップの方々による講演会を開催して、現在の医療の問題点、透析医療のあり方などについて指導していただいたことは、特記すべきことであったといえます。また、日本医師会の動きについてより詳しく学ぶことができました。来年は透析医療だけでなく、医療制度全体が変革されることになり、健康保健制度や医療費が大きく変わる予定と伝えられておりますので、

表 1 大阪透析医会役員

平成 12 年 4 月～平成 14 年 3 月

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
名誉会長	前川 正信	三清会 泉南中央病院	幹 事	仲野 孝	田仲北野田病院
会 長	飯田 喜俊	淀川キリスト教病院		西尾 正一	生長会 府中病院
副 会 長	小野 秀太 小野山 攻	三康病院 小野山診療所		西川 光重	関西医科大学第 2 内科 透析室
				西沢 良記	大阪市立大学第 2 内科
常任幹事	今田 聡雄 河村 裕憲 川村 正喜 金 昌雄 河野 眞彦 高橋 香司 田畑 勉 近森 淳二 浜田 勝生 三上 裕司	近畿大学医学部堺病院 内科 河村クリニック 宝生会 PL 病院 仁真会 白鷺病院 明生会 明生記念病院 高橋クリニック 蒼龍会 井上病院 堺近森病院 有澤総合病院 総合病院 東香里病院		長谷川廣文	近畿大学医学部第 3 内科
				早原 信行	大阪市総合医療センター泌尿器科
				東 登伎雄	門真クリニックあいわ診療所
				福原 吉典	国立大阪病院内科
				藤井 正満	大阪厚生年金病院 内科
				宮野 元成	西出病院 内科
				矢嶋 息吹	門真クリニックあいわ診療所
				保井 明泰	松下記念病院 腎不全科
				山川 智之	仁真会 白鷺病院
			監 事		
田仲 紀陽	田仲北野田病院				
幹 事	秋山 隆弘 東 勇志 今井 圓裕 上田 陽彦 梅田 優 岡崎 修治 岸田 直博 岸本 武利 小角 幸人 椿原 美治 時実 昌泰	近畿大学医学部堺病院 泌尿器科 あずま泌尿器科 大阪大学医学部第 1 内科 腎研究室 大阪医科大学泌尿器科 野上病院人工透析室 三和会 永山病院 岸田クリニック 大阪市立大学医学部泌尿器科 大阪大学医学部泌尿器科 大阪府立病院腎臓内科 時実クリニック	顧 問	阿部 裕	大阪労災病院
				稲田 満夫	関西医科大学第 2 内科
				鎌田 武信	大阪労災病院
				栗田 孝	近畿大学医学部泌尿器科
				園田 孝夫	大阪府立病院
				田中 治	東大阪病院
				西出 巖	尚生会 西出病院
				堀内 篤	近畿大学医学部堺病院
				森井 浩世	森井浩世事務所
				若林 明	大阪府 医師会

表 2 大阪透析医会の業務と分掌

平成 12.4～

委員会名	担 当 幹 事		
	委員長	副委員長	委 員
1 保険医療委員会	河村	藤井	東, 小野山, 金, 田仲, 時実, 三上
2 災害事故対策委員会	近森	川村	岡崎, 岸田, 金, 高橋, 浜田
3 感染対策委員会	今田	長谷川	田畑, 仲野, 福原
4 地域医療委員会	小野	東 (勇)	飯田, 小野, 小野山, 宮野, 各地区連絡網ヘッド
5 学術委員会	今田	金	飯田, 上田, 河野, 仲野, 長谷川
6 渉外委員会	飯田	浜田	小野, 小野山, 保井 (顧問 前川)
7 腎移植委員会	高橋	秋山, 岸本	田仲, 浜田
8 要介護委員会	浜田	河野	小野, 小野山, 三上, 山川
9 在宅透析委員会	田畑	今田, 保井	金, 椿原, 西尾
10 倫理委員会	小野	河野	飯田, 小野山, 高橋, 近森
11 総務委員会	金	川村	飯田, 梅田, 山川
12 財務委員会	河野	川村	飯田, 金
13 広報委員会	小野山	今田	東 (勇), 金, 三上
14 事務局	事務局長	金	
15 府医単科医会	運営委員	小野	評議員 河村, 金, 河野

(敬称略, 50 音順)

表3 大阪透析医学会会員数

	施設会員	個人会員	賛助会員
昭和 63 年	98	107	1
平成 1 年	98	104	1
2 年	109	132	1
3 年	115	135	1
4 年	116	133	1
5 年	122	135	1
6 年	127	140	1
7 年	131	150	1
8 年	147	161	1
9 年	148	159	1
10 年	156	153	1
11 年	156	153	1
12 年	159	163	1

表4 平成11年度の主な事業

1. 総会
 - 1) 定例総会
平成11年4月10日(土) 天王寺都ホテル本館
特別講演 医療制度改革の動向と透析医療の位置付け
講師 松田鈴夫(国際医療福祉大学教授・医療審議会委員・日本透析医学会理事)
 - 2) 緊急臨時総会
平成11年6月17日(木) 天王寺都ホテル
特別講演 劇症肝炎の院内発生について
 - ① (社)日本透析医学会の動きと見解
講師 飯田喜俊(日本透析医学会副会長・大阪透析医学会会長)
 - ② 感染症新法一とくに劇症肝炎をめぐる一
講師 高杉 豊(大阪府保健衛生部部長)
2. 講演会開催
 - 1) 第1回講演会
平成11年7月24日(土) 天満研修センター
主題 献腎移植を普及させるために
 - (1) 学術講演
ヒトエリスロポエチン製剤 エスポー最近の話題について
講師 中越昭裕(キリンビール株式会社 医薬事業本部)
 - (2) 特別講演
 - ① わが国で初めての脳死移植を経験して
一問題点と今後の対策一
講師 小中節子(移植ネットワーク:近畿ブロック)
 - ② 腎移植の現状(世界, わが国, 大阪)
講師 小角幸人(大阪大学医学部泌尿器科)
 - (3) ラウンドテーブルディスカッション
献腎移植を普及させるための方策
～透析施設からの提言～ ～移植医の立場から～
金 昌雄(仁真会 白鷺病院外科) 伊藤喜一郎(大阪府立病院泌尿器科)
仲野 孝(紀陽会田仲北野田病院内科) 仲谷 達也(大阪市立大学泌尿器科)
小野秀太(三康病院泌尿器科)
コメンテーター 小角幸人, 小中節子
 - 2) 第2回講演会
平成11年12月18日(土) 大阪府教育会館 高津ガーデン
 - (1) 学術講演
ノルエピネフリン前駆体ドロキシドーバの起立性低血圧改善作用
講師 大野行弘(住友製薬総合研究所)
 - (2) 特別講演
 - ① 透析低血圧をめぐる
講師 椿原美治(大阪府立病院 腎臓内科部長)
 - ② 透析困難症をめぐる
講師 前田貞亮(前田記念腎研究所理事長)
 - (3) アンケート質疑応答(保険診療に関して)
講師 小野秀太(三康病院理事長)

3. 大阪府医師会医学の進歩シリーズ講演会
 - 1) 平成 11 年 1 月 28 日（木） 大阪府医師会館
演題 慢性腎不全患者の外科的治療
講師 大平整爾（日鋼記念病院院長）
 - 2) 平成 11 年 9 月 30 日 大阪府医師会館
演題 血液浄化療法はここまで進んだ
講師 飯田喜俊（淀川キリスト教病院顧問）
4. 大阪府医師会医学会総会への研究発表
平成 11 年 10 月 14 日（木） 大阪府医師会館
大阪透析医会からの発表 10 題
5. 大腎協・透析医会役員懇談会 ニプロ株式会社社会議室
議題
 - (1) 感染症問題（B 型肝炎・MRSA などについて）
 - (2) 透析医療の切り下げについて（透析費用のまるめ）
 - (3) 脳死者の臓器移植について（阪大の件・国循の件）
 - (4) 透析患者の通院介護問題について
 - ・介護保険がどこまで通用するか
 - ・各施設での送迎はどこまで許されるか
 - (5) CAPD と血液透析について（CAPD 患者は血液透析をしてもらえない）
 - (6) 透析時間の短縮問題（3 時間・3 クール制が増えてきた）
 - (7) スタッフ不足による医療トラブル

表 5 平成 12 年度の主な事業

1. 定例総会
平成 12 年 4 月 22 日（土） 天王寺都ホテル本館
診療報酬改定説明会
 - (1) 診療報酬改定における日本透析医会の取り組みについて
小野山攻（日本透析医会理事）
 - (2) 透析関連における診療報酬改定の解釈について
吉田成彰（仁真会白鷺病院医事課長）
2. 講演会
 - 1) 第 1 回講演会
平成 12 年 7 月 29 日（土） ハービス大阪 ガーデンシティクラブ
 - (1) 教育講演 透析による骨障害
講師 森井浩世（大阪市立大学名誉教授）
 - (2) 特別講演 平成 12 年度の診療報酬改定と今後の医療制度の動向
講師 菅谷 忍（日本医師会常任理事）
 - 2) 第 2 回講演会
平成 12 年 11 月 4 日（土） ハービス大阪 ガーデンシティクラブ
 - (1) 教育講演 長期透析合併症—その管理と問題点—
講師 原 茂子（虎の門病院血液浄化療法部長）
 - (2) 特別講演 21 世紀の医療を考える
講師 糸氏英吉（日本医師会副会長）
 - 3) 透析患者のためのスキンケア研究会
平成 12 年 10 月 7 日（土） ヒルトン大阪
講演 1. 透析患者の皮膚について
講師 早川律子（名古屋大学環境皮膚科教授）
講演 2. スキンケアの必要性について
講師 吉川邦彦（大阪大学大学院皮膚科教授）
講演 3. スキンケア剤の使用例について
講師 杉浦真理子（名古屋大学環境皮膚科）
3. 大阪府医師会医学会総会への発表
平成 12 年 11 月 12 日（日） 大阪府医師会館
大阪透析医会からの発表 11 題
4. 大腎協・透析医会役員懇談会
平成 12 年 10 月 12 日（木） ニプロ株式会社社会議室
議題
 - (1) 感染症問題について
 - (2) 診療報酬改定について
 - (3) 献腎移植の現状について
 - (4) 透析患者の通院送迎について
 - (5) HDF について

表 6 平成 13 年度の主な事業

-
1. 定例総会
平成 13 年 4 月 28 日 (土) 天王寺都ホテル本館
特別講演 透析医療の包括化シミュレーションについて
(1) 病院経営状況と今後の透析医療
講師 内藤秀宗 (甲南病院院長)
(2) 透析医療の診療報酬について考える
講師 井上 隆 (蒼龍会 井上病院理事長)
 2. 講演会の開催
 - 1) 第 1 回講演会
平成 13 年 7 月 28 日 (土) 新阪急ホテル
(1) 学術講演
抗凝固剤, 注射用フサンの有用性と最近の話題
講師 築山まゆみ (鳥居薬品株式会社学術部)
(2) 教育講演
在宅血液透析の現状と将来
講師 吉本 忍 (長寿クリニック院長)
(3) 特別講演
抗凝固薬の使い分けと新しい抗凝固薬
講師 篠田俊雄 (社会保険中央病院 腎臓内科部長)
 - 2) 第 2 回講演会
平成 13 年 11 月 17 日 (土) 都ホテル大阪 (上六)
(1) 学術講演 敗血症の新しい診断法「in situ hybridization 法」
講師 松久明生 (扶桑薬品株式会社 研究開発センター)
(2) 特別講演 1. 欧米における透析療法と今後の方向性
講師 田中 寛 (フレゼニウスメディカルケア ジャパン 医療学術部部長)
(3) 特別講演 2. 日本の透析医療経済
講師 桜堂 渉 (バクスター株式会社 医療経営研究室室長)
 3. 大阪府医師会医学会総会への発表
平成 13 年 11 月 11 日 (日) 大阪府医師会館
大阪透析医会からの発表 8 題
 4. 大阪府民 1 万人集会での当会からの参加者 105 名
平成 13 年 11 月 23 日 (金) 大阪城ホール
 5. 大腎協・透析医会役員懇談会
平成 13 年 10 月 11 日 (木) ニプロ株式会社社会議室
議題
 - (1) 透析時間について
 - (2) 大阪府行財政計画について
 - (3) 献腎移植件数増加にむけて
 - (4) 透析施設の給水の確保について
 - (5) 臓器移植希望者の手続きについて
-

本年はとくに透析医療経済に関する講演会を開催し、これについて深く勉強しました。

おわりに

以上が最近の大阪透析医会の活動状況です。医療制

度が大きく変更し、その結果少なからぬ痛みを伴うことになりそうですが、本会は日本透析医会の大阪府支部として日本透析医会の活動に協力し、よりよき透析医療の質と透析患者の QOL の向上、透析施設の経営安定ために邁進したいと考えております。